

会 議 録

会議の名称		第3回川島町保育園経営改革審議会会議
開催日時		令和5年1月10日(火)午後3時00分～午後5時00分
開催場所		役場庁舎2階 庁議室
議 題		(1) 今後の川島町の保育施設について (2) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴人2名)
出席者	委 員 (敬称略)	中谷 茂一、鹿山 洋子、阿部 英之助、加藤 桂子、高倉 富美子、 新井 和子、笛木 哲、茂木 久代、岸田 淳子、新井 諭、 飯島 久美子
	事務局職員	子育て支援課 島村 明子、小林 覚、小島 知美
配布資料		【配布資料】 資料1 第3回川島町保育園経営改革審議会会議次第 資料2 川島町経営改革審議会検討資料(第2回会議で配布した 「追加資料4-2」を基に編集したもの) 資料3 保育施設を社会福祉法人へ移管した事例 資料4 埼玉県内町村の保育施設等の状況 資料5 保育園運営費に係る公費負担について 資料6 参考資料 資料7 保育所に係る補助制度の変遷 資料8 令和3年度決算報告(広報かわじま) 資料9 保育園状況調査資料
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 島村課長</p> <p>2 あいさつ 中谷会長</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議及び会議録は公開かつ会議録は要点筆記である旨を説明しました。 ・会議録の署名委員は3号委員の新井委員と飯島委員に依頼しました。 <p>(1) 今後の川島町の保育施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議にて追加で提供依頼のあった資料について、資料2から資料9を作成し、内容を説明しました。その中で、私立幼稚園が認定こども園に移行した場合、施設定員が余剰となることや、公立保育園が2園とも民営化した場合、1園を民営化した場合、2園とも公立保育園のままとした場合、1園を廃園とした場合、それぞれの町負担額などについて説明しました。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の会議のスケジュールについて、第4回会議を1ヵ月後に行うことを説明しました。 <p>4 閉会 鹿山副会長</p>		

ご意見まとめ

(1) 今後の川島町の保育施設について

●資料3について

【委員】三芳町は正規職員が定年退職により減少したというのも、民営化のきっかけのひとつであったと思われます。川島町は、定年退職により正規職員がどの程度減少する見込みでしょうか。

【委員】今年度で1名定年退職となります。その後はしばらく定年退職となる正規職員はいません。

【事務局】今後、定年退職となる年齢が60歳から延長される予定です。

●資料4について

【会長】神川町の私立保育園が令和5年度で閉園となるのは、どのような理由でしょうか。

【事務局】詳細は不明ですが、ホームページに閉園するとの記載がありました。

●資料5について

【委員】地方交付税があれば公立保育園の運営は可能なのでしょうか。それとも、老朽化による施設修繕を行っても補助金が出ないため、運営が難しいのでしょうか。

【事務局】地方交付税があれば運営は可能かもしれませんが、今後施設定員が余剰になるということも考慮しなくてはいけないと考えております。

【会長】町負担額高額順に、パターン(3)、パターン(2)、パターン(4)、パターン(1)となっています。パターン(2)とパターン(3)は非常に高額のため除外して検討しても良いと考えますが、委員の皆様のお考えはいかがでしょうか。

【委員】神川町では私立保育園が閉園となっている状況があります。公立保育園は残してほしいです。

【委員】子どもが減っているので、各園の定員を減らして2園のままとすることはできないのか。どちらか一方が閉園となった場合、保護者の送迎が大変ではないでしょうか。

【事務局】0歳児から5歳児まで受入する場合、年齢ごとに決められた人数の保育士が必要であり、高額な人件費がかかるため、現在と大きくは変わらない負担額になると考えられます。

【委員】子どもは宝です。子どもにはお金をかけて、大切にしていかなければいけません。『子どもがいないから保育園はいらない』となり、公立保育園がなくなるのは不安です。

【委員】先生は宝です。私立保育園に対する不安もあると思います。先生たちのためにも、公立保育園は残してほしいです。ただ、2園とも公立保育園のまま残すことは難しいと思います。

【委員】少子化の状況や町の財政面のことを考えると、けやき保育園1園が良いと思いますが、建築から40年以上経過しており老朽化していますので、新しい建物ができるの良いと思います。

【委員】保育士に意見を聞いたところ、1園は残してほしい、働けなくなるのは不安である、という声がありました。立地や環境面からけやき保育園が望ましいですが、現在の建物は老朽化しており、毎年高額な修繕費がかかっています。

【会長】川島町の公立保育園は加配対応児童を他市町村と比較して多く受入しているという素晴らしい点があります。公立には公立の良さ、強みがあります。私立は撤退する可能性もあり、そのような状況になった際は町民に迷惑がか

かってしまいます。公立保育園を残すことで、リスクを減らすことができます。川島町の社会福祉協議会は保育園運営の経験がないため、委託することは難しいと思います。パターン(2)では財政面での負担はそこまで減らすことができないうえ、4, 5歳児の定員割れが目に見えています。共倒れしてしまう可能性や、受け手となる事業者が出てこない可能性があります。それでは、1園を公立園として残すことを本審議会の総意として良いでしょうか。

【委員】異議なし。

【委員】子どもの奪い合いにならないように、特色を出しながら運営していくことができれば良いと思います。

【委員】低年齢で入園できない子どもが出てしまうのではないのでしょうか。いつまで2園での運営とするか、方針を出した方が良いのではないのでしょうか。

【事務局】現在も入園希望が多い場合は、2クラスに分ける対応をしています。

【委員】資料2は私立幼稚園が認定こども園に移行する予定ありきでの内容です。最終的に決定するのは、もう少し後でも良いのではないのでしょうか。

【事務局】認定こども園の認可が下りるのは令和6年3月ですが、内示は令和5年6月頃となる予定です。

【会長】公立保育園が2園から1園となることが公表されるまでに入園した子どもは、卒園までそのまま受入してほしいです。いつ公表するか、どのように1園とするか、次回会議で資料を提示していただきたいです。

【委員】きちんと工程を決めた資料の作成をお願いします。

【会長】けやき保育園の環境が恵まれているという意見がありますので、答申に明記してください。なお、けやき保育園とさくら保育園のどちらを廃止するかは、町の担当者や町全体が考えていくべきであると考えます。

【委員】担当者だけでなく、保護者の意見も聞いてほしいです。

【委員】さくら保育園は住宅地にあるため、子どもの声などに対する苦情があります。外遊びはクラスごとに決められた曜日のみとしたり、園庭で遊ぶのではなく散歩にするなど、制限が多いです。

【委員】平成の森公園は町外から人が訪れるほど人気がある公園です。けやき保育園はその近くにあるため、手放すのは惜しいと思います。

【委員】けやき保育園周辺には、行政施設が多く集約されてきています。そのような内容も、答申に記載してください。

【会長】これらの意見や町民の意見を踏まえて、どちらの園を廃園するか決定してほしいと思います。

署

名

新井 諭

飯島 久美子